

レバノン人留学生カーラさん講師に

アラビア文字で漆印

塩浜市木曾早沢を
拠点とする「うるし
・ワークショップ実
行委員会」はこのほ
ど、同市大門二番町
の市民交流センター
えんばーくで、手作
りはんこで和紙や木
わんに漆印を押すワ
ークショップを開い
た。東京聖大大学院
で学ぶレバノン人留
学生のサレム・カー
ラ・シネさん(33)が
講師となり、小学生
8人と大人3人が取
り組んだ。

(小林和男)

参加者に、カーラさ
んは和紙も漆もレバ
ノンにはない。素晴ら
しい日本の文化だと思



カーラさんにアラビア文字を教わりながら
はんこのデザインを考へる子どもたち

いますと説明レバノ
ンでは、フェニキアと
呼ばれた古代から杉は
重要な構築材で、漆の
実は今でも高用にして
いるが、日本のような
工芸品はないという。
和紙に漆でアラビア
文字をデザインする、
両国の文化を合体させ
たような作品を制作
中。日本の子どもたち
にもはんこを使って同
様の体験してもらおう
と企画した。

参加者がまず取り組
んだのは、はんこ作り。
薄型の消しゴムを好き
な形に切り取り、表面
にアラビア文字を彫り
はめる。スタンプのア
ドバイスを受け、外形
や表面のデザインを決
めて、彫刻刀で掘り込
み、裏につまみを作れ
ば完成だ。

さらに、漆を薄く延

ばし、はんこの表面に
工事に移して和紙に押
印。しずさも感じる図
柄が出来上がった。
カーラさんにアラビ
ア文字を教えてもつ
た西牧春樹君(9)、大
門一番町は「面白い。
乗ってきた」と言
いながら、富士山型の
中に文字をデザインし
たはんこを作り、楽し
んでいた。